

WHO ファクトシート

ボツリヌス症

Botulism

2016年11月

重要な事実

- ・ボツリヌス菌は、低酸素状態で危険な毒素(ボツリヌス毒素)を産出する細菌である。
- ・ボツリヌス毒素は、最も致死性が高いとして知られている物質のひとつである。
- ・ボツリヌス毒素は、神経機能をブロックし、呼吸や筋肉の麻痺を引き起こすことがある。
- ・人のボツリヌス症には、食餌性ボツリヌス症、乳児ボツリヌス症、創傷性ボツリヌス症及び吸入ボツリヌス症あるいはその他の中毒症がある。
- ・不適切に加工調理された食物の摂取による食餌性ボツリヌス症は稀であるが、迅速な診断と抗毒素治療がなければ、死に至る可能性のある疾病である。
- ・自家製の缶詰、保存食品、発酵食品等は、食餌性ボツリヌス症の一般的な原因であり、それらの加工調理には細心の注意を要する。

© World Health Organization

この文章は、日本WHO協会がWHOのメディアセンターより発信されているファクトシートのキーファクト部分について、2014年3月にWHO本部より付与された翻訳権に基づき作成したものです。

ファクトシートには、訳出部分以外にも当該案件に関する基本的情報や詳細情報へのリンク先などが示されていますし、また最新事情に合わせて頻繁に見直しが行われますので、更新日時の確認を含めWHOホームページでの原文をご確認ください。

Botulism

ファクトシート原文は [こちら](#)